

事業報告書

こども活動

① ひとりだちクッキング Ver5 小4～中学生男女 対象 全6回

会場：花川北コミュニティーセンター調理室

指導者：竹中リュ子さんと 補助スタッフ6名

登録費：3,000円 食材費：1回800円

参加者：33名（小4～中1うち男子7名） 参加率84%

1回目 そばいなり、はんぺんのはさみ揚げ

キャラメル大学ポテト、汁物

2回目 ソーセージロール、野菜と豚バラ肉巻

鮭とピーマンのチーズ春巻き、サクサクケーキ

3回目 餃子、黒豆ときな粉のマフィン、中華スープ、カリカリしゅうまい

4回目 カレードリア、ソーセージとキャベツのスープ、餃子の皮でアップルパイ

長芋とタラコのふんわり団子

5回目 中華おこわ、油揚げと大豆サラダ、やわらかメンチカツ、汁物

6回目 とうきびのかき揚げ、もちと明太子の春巻き、牛肉とごぼうのしぐれ煮

ミネストローネスープ



男子は少数だったがあまり気にしていないようだった。班によっては役割が固定されがちだったがそこは指導員の一言で楽しくできた。全体的には非常にのびのびと料理に取り組めていたと思う。

② こどもフラワー教室 小3～中学生男女 対象 全6回

会場：石狩市民図書館視聴覚室

指導者：長田真澄さん 補助講師2名 スタッフ1名

材料費：1,000円

参加者：19名 小学生18名 中学生1名

延べ101名 参加率85%

平成27年度文化庁伝統文化親子教室事業



黙々と花に向き合う姿は日頃の小学生の姿とはちがいが驚きだった。

保護者からの支持が多い。

③ コムステサマーキャンプ 小3～中学生男女 8月1日(土)2日(日)3日(月)

場所：どんころ野外学校

指導者：どんころ野外学校の講師 理事2名スタッフ5名

参加費：16,800円

参加者：小学生15名中学生2名

オリエンテーションは7月19日(日)こども未来館

子どもゆめ基金助成事業



3, 4年生の申し込みがなくはじめてのことでびっくりした。

継続の人、兄妹は多いのに新規は少ない。少子化の影響か。

来年度は札幌圏にもチラシを配布予定。

結果としてきもだめしなリーダー、サブリーダーの力をかりることになりそれはそれで思わぬヒットとなった。

④ いしかりこどもまつり 2015 7月26日(日)全市民対象

会場：こども未来館内外

指導者こどもまつり実行委員会などスタッフこども23名大人7名

参加者：子ども564名 大人210名 計774名

子どもゆめ基金助成事業



バクダン、書道パフォーマンス、北大ぬいぐるみ病院

バンドライブ、虹色キャンパス、ダブルダッチ協会

ヒグマのトランクキッドプログラム、ピエロの学校

今までにないほどの高校生の力が集まったこどもまつりだった。その姿を見ていた小学生の活躍を長い目で期待したい。

⑤ ビスケットであそぼう 小3～小6男女 10月3日(土)

会場：こども未来館

指導者：合同会社デジタルポケット、原田康徳さん
スタッフ2名

参加費：1200円

参加者：午前の部13名、午後の部12名

子どもゆめ基金助成事業



今回で5回目の事業なので、おなじみの参加者もいて徐々に定着しつつある。

今回は一歩進んで、故意に第三者に影響を与えるようなプログラムを作ってみる。

次年度各児童館で子どものメディアあそびのためタブレットを20台購入した。

⑥ コムステ冬あそび 「冬の足跡をさがそう」 小3～小6男女

2016年1月14日(木) 15日(金)

場所：札幌市南区定山溪自然の村

指導者：自然の村の講師、スタッフ6名

参加費：6,000円

参加者：29名

子どもゆめ基金助成事業



チラシを札幌市屯田地区、あいの里地区に配った。定員以上の応募があった。
天候にも恵まれ夜の探検など楽しめた。食事係、ゴミの始末など重労働だった。

⑦ 鑑賞活動 「天狗の夢裁き」9月5日(土)

会場：花川北コミュニティセンター ホール

出演：人形劇団ポポロ

参加費：大人1,800円 子ども800円

参加者：一般 大人12名 子ども7名

クラブ児童177名付き添い10名

計206名



ホールいっぱいの大きな人形劇で堪能した。市のバスの手配があったのでクラブの
子ども達がほとんどの状態になった。一般19名、チケットの売り方一考か。

子育て支援事業

① ママパパライン

毎週月 13:00～16:00 祝日、年末年始お休み

受け手1名 支え手1名 事務スタッフ1名の体制で年間23件の

電話を受けた。(6月、7月はお休みした) 月平均2.3件となる。

全国キャンペーンは2月15日(月)～20日(土)3件の電話を

受けた。3月7日(月)国立オリンピック青少年センターで開かれた

「ママパパライン受け手・支え手・スタッフ」全国研修・交流会に4名参加



② 傾聴ボランティア養成講座 10月3日(土)

会場：りんくる視聴覚室

講師：子どもの心を守る 坂本 勤さん(札幌市)

ママパパラインとは 藤原市子さん(石狩市)

支援者のための怒りのコントロール 竹内洋江さん(名古屋市)

参加費：2,000円 参加者：12名 赤い羽根共同募金助成事業



ボランティア確保にはならなかった。どのような研修にしたらいいか検討する。

(参考資料) P8

③ 10代のベビーシッター養成講座

地域支援拠点りとるきつずの事業の中にくみこまれているが講師の手配や講座内容などの支援をした。

9月19日(土)20日(日)小5～高校生

会場:りんくる、こども未来館

会費 600円

参加者:20名

今年度も定員を超える申し込みをいただく。2日目の託児実習では、泣く幼児を必死にあやし、笑わそうと子ども達ががんばっていた。りとるきつずへのベビーシッターボランティアへも積極的に参加している。

地域交流

- ・いしかり子育てネット会議に参加
子育てセミナー、いしかり子育てメッセ2015などの協力
- ・こども見守りネット参加
- ・石狩地域子育て支援拠点連携会議参加(道庁)
- ・科学の祭典2015への協力 9月12日(土)
- ・石狩市子ども・子育て会議委員

研 修

(職員)

第1回 ○クラブ職員 5月24日(日)北コミ 24名出席

『学童保育指導員セミナー』4講座

講師 竹村早苗さん(学童保育士協議会理事・北海道学童保育連絡協議会事務局長)

○児童館職員 6月21日(日)南児童館 13名出席

にじみ絵・ローズウィンドゥ制作体験 講師 近藤 忍さん

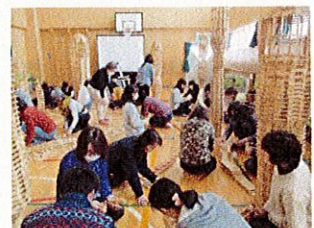
第2回 セルフエスティーム講座 9月20日(日)

講師:手塚千砂子さん 24名参加

第3回 職員交流会 12月19日(土)

第4回 カプラ研修 2月21日(日)

南児童館 講師:カプラジャパン富安智子さん 35名参加



(その他)

- ・ 児童館館長研修 10月26日 伊藤一級指導員参加
- ・ 児童厚生員2級資格取得講座 取得者6名 吉川、大城（未来館）
安藤、大塚（つくし）森（げんきっ子）
小林（おおぞら）奥井（なかよし）
- ・ 児童厚生員一級特別セミナー参加 伊藤一級指導員、上野一級指導員

ホームページでの広報活動

外部に委託して管理してもらっている。スムーズな連携が課題
HPからの求職があったことから求人情報ページを充実させたい。

理事会

年3回と臨時理事会（総会打ち合わせ）1回開催しコムステーションの事業等を支えた。
長長会議を月1回程度開き事務局と緊密に連絡をとるようにした。

事務局

局長と事務局員の二人体制で事業管理、資産管理、労務管理をフル回転ですすめた一年であった。職員の退職金制度を創設、中小企業退職金共済制度を利用することになった。
コムステ通信の発行2回



受 託 事 業

- ・地域子育て支援拠点事業 子育て広場 りとるきっず
292日開設 9,771名受け入れ 団体受け入れもあり。
講座はフラエクササイズ、人形かご、おっぱい講座、ベビーマッサージなど16講座、「だっこらっこ」の預かり22組 スタッフ2名
外部ボランティア講師の参加が活動を助けた。
「10代の子育て支援者養成講座」毎年好評でだんだん熱心になってきたようだ。
この機会におかあさんのセルフエスティーム講座も実施した。
参加費600円 参加者20名 講師3名 スタッフ3人
- ・地域子ども教室 2か所 シップ教室、八幡教室
シップは地域の居場所として時には中、高生も来ることもあり定着している。
これまで来ることのなかった八幡小の子どもも違和感なく来るようになっていく。
八幡はクラブの人数が少数のため教室の子どもが加わらないとあそびがなりたないこともあり一体化している。
- ・放課後児童会 10クラブ
樽川スマイル、なかよし、おおぞら、にこにこ、げんきっ子、ピノキオ、キラキラ、花っ子、つくし、ファイトキッズ
このうち5つのクラブには1名～2名の障がい児受け入れの加配がついている。
10クラブそれぞれ特徴を出してがんばっている。
クラブでは上野指導主任が中心となり、主任会議4回（5月、7月、9月、2月）
全員が集まる合同会議3回（5月、11月、2月）開き、職員の研修、意識改革、交流を図っている。5月13日第1回目の主任会議は危機管理(叱り方)について。講師えるむの森保育園長 坪田清美さん。

指 定 管 理 事 業 4 館

- ・こども未来館 347日開設 22,992名の入場
りとるきっず、花っ子クラブをいれる（19,606名）と
入場者は42,598名 団体利用もあり。
4つの館の中心として先進的なものに取り組むようすすめている。
- ・南児童館 294日開設 7,669名の入場
なかよしクラブ、幼児開放の13,085名を入れると入場者は20,754名
時間延長、もちこみ自由にともない中学生の利用が増えてきている。
- ・北児童館 294日開設 2,401名の入場
ピノキオクラブ、幼児開放の8,738名を入れると11,139名
夏休み冬休み中は中学生もちらほら、普段は双葉小のこどものみ。



・おおぞら児童館 294 日開設 2,112 名入場

おおぞらクラブ、幼児開放の 8,043 名を入れると 10,155 名

石狩市に最初にできた児童館ではあるが古く老朽化が激しいせいかあまり知られなくなっている。付近は高齢化がすすんでおり、子どもがたくさんいる地域と離れてしまった。PR が必要。

児童館・子ども教室は 1 回の全体会議（4 月）、4 回の主任会議（6 月、8 月、10 月、2 月）を行い職員の研修と交流に努めた。伊藤未来館主任がとりまとめた。

